

学部新入生の皆さんへ

平成18年4月から

GPA制度の本格利用・履修登録上限設定がスタート！

本学では、教育の国際化に対応し、他大学の成績評価制度との互換性を高めるために、平成17年度から、「優」の上に「秀」を加えた5段階評価と、GPA (grade point average) 制度を実施しています。

皆さんのように今年入学された学部1年次生については、GPA制度の本格利用と、新たに履修登録上限設定の制度がはじまります。

GPA制度とは、米国の大学で一般的な成績評価方法で、学生一人ひとりの履修科目の成績の平均を数値により表すものです。学期ごとに、履修した各科目の評価に下記のGPを与え、このGPにその科目の単位数を乗じ、その合計を、履修科目の単位数の合計で除して算出します。

また、履修登録上限設定は、各学期ごとに履修登録できる単位数に上限を定める制度で、各自の授業時間外の学習時間を確保し、学生の主体的な学習を促す等、十分な学習時間を確保する工夫によって、単位の実質化を進めることを目指しています。

各制度の概要は、以下のとおりです。

1. GPA制度について

成績評価とGPA

成績は、秀・優・良・可・不可の5段階で評価され、各評価に対するGP等は、以下のとおりです。

成績評価	GP	100点方式との対応
秀	4.0	90点以上
優	3.0	89～80点
良	2.0	79～70点
可	1.0	69～60点
不可(不合格)	0	60点未満

GPA(科目成績平均値)

GPAとは、単位当たりの成績の平均値で、以下の計算式によって算出します。

学期GPA(その学期のGPA)

$$\frac{(\text{その学期に評価を受けた科目で得たGP} \times \text{その科目の単位数})\text{の合計}}{\text{その学期に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

通算GPA(在学中の各学期を通算したGPA)

$$\frac{((\text{各学期に評価を受けた科目で得たGP} \times \text{その科目の単位数})\text{の合計})\text{の総和}}{(\text{各学期に評価を受けた科目の単位数の合計})\text{の総和}}$$

GPAの計算は、小数点第3位以下を切り捨てとします。

科目等によっては、各GPAに算入するもの、算入しないものがあります。

GPAは各学期末に配付される学修簿に記載されます。全学及び学部ごとのGPAの平均値が付記され、学生が自分の学習状況を数値で客観的に知り、次の学期の履修計画等に役立てることができます。

平成17年度のデータでは、1学期・2学期を合わせた通算GPAの全学平均値は2.21でした。これは、たとえば10科目のうち、おおよそ8科目が「良」、2科目が「優」の成績に相当します。

「えるむ」2006年4月号

平成18年度以降の入学者については、GPAが授業料免除、種々の奨学金等の選考の基準に利用されることがあります。また、学部によっては、学科等への振分けの基準等に利用されることもあります。

GPA制度の重要な利用法は、皆さんがそれぞれ次の学期の履修計画に利用することです。

成績が伸びない場合は、無理をせず、履修する科目を絞り込んで、少ない科目に集中して取り組んでください。

好成绩の場合には、履修登録上限設定の特例措置(2.を参照)により、2学期には、上限設定単位数を超えて最大4単位まで余分に履修登録ができますので、幅広い学習に役立ててください。

クラス担任の先生には、2学期の初めに、1学期の成績(GPA)を参考にして、個別の修学指導をお願いしてありますので、その機会も利用して、自分に合った履修計画を立ててください。

大学の授業は1単位につき、予習・復習時間を含めて45時間(1週間に3時間)の学習が必要です。そのことをよく理解して履修計画を立ててください。

GPAの値に一喜一憂する必要はありませんが、自分の学習のペースをつかむために活用してください。北大では、成績評価に極端なバラツキが生じないように、成績評価基準を明確にし、授業科目・担当教員・クラス別の成績評価の分布状況(秀,優,良,可,不可の%等)をホームページに公表しています。

これも参照してください。 <http://educate.academic.hokudai.ac.jp/seiseki/GradeDistSerch.aspx>

2. 履修登録上限設定について

平成18年度入学者の1年次について、各学期の履修登録できる単位数の上限を、学部ごとに下記のとおり定めています。

学部 学期	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	
						医学科	保健学科
1学期	21	21	22	21	23	24	23
2学期	21	21	22	21	23	22	23
学部 学期	歯学部	薬学部	工学部	農学部	獣医学部	水産学部	
1学期	21	24	23	21	23	23	
2学期	21	24	23	21	23	23	

上記の履修登録上限設定単位数に「含まれる科目」や「含まれない科目」があります。

原則として、上記の上限設定単位数を超えて履修登録はできませんが、集中講義や教職科目(卒業要件に算入できない場合のみ)等は例外として認められます。

また、1学期のGPAが良好な場合は、2学期には、上限設定単位数を超えて最大4単位まで余分に履修登録ができる特例措置があります。

その他、今年度からは、外国語演習、一般教育演習、大講堂で行われる授業等の履修調整(授業期間の第1週目に実施)のシステムが大幅に変更となります。

さらに、「評価せず」という判定が廃止され、履修登録した科目はすべて評価の対象となり、原則としてすべてGPAに算入されます。

以上のように、皆さんの諸先輩からのアドバイスは参考にならないことが多いので、注意してください。

履修登録の際は、各学部の「学生便覧」や、履修届の配布の際に添付される「履修手続要領」を必ず参照のうえ、手続きすることを強くお勧めします。

GPA制度、履修登録上限設定について、詳細は、「学生便覧」や、学生向けの「「秀」評価、GPA制度及び履修登録単位数の上限設定 Q & A」等を参照してください。

<http://infomain.academic.hokudai.ac.jp/GPA/gpaqa.html>